

神経発達症外来受診関係者各位

令和2年8月1日
東京都立東大和療育センター分園よつぎ療育園
園長 玉木久光

神経発達症（発達障害）外来縮小のお知らせ

日頃から当園の診療にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

この度、注意欠如多動症、自閉スペクトラム症などの神経発達症（発達障害）外来を縮小することとなりました。皆様のご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。

当園は重症心身障害児（者）の通所施設として開設以来、通所利用者への良好な生活の場の提供を使命とし、ご期待に添える様に努力してきました。診療所も併設され、重症心身障害児（者）の日常健康管理や外来リハビリテーションを中心に外来診療を実施してきました。また地域の皆様のご要望により注意欠如多動症や自閉スペクトラム症などの神経発達症についても診療を実施してきました。

しかしながら、昨今、在宅人工呼吸器利用を含む濃厚な医療的ケアを必要とする重症な在宅医療患者が増加し、当園通所利用者も重症化しています。当園では、他施設受入困難な重症度の高い通所利用者の受入を実施しています。そのため、通所利用者の医学的管理と外来診療の両立に少なからず困難が生じています。

一方、神経発達症については、以前に比べて乳幼児期～思春期の発達相談・療育実施可能な施設も増加傾向です。

当園では、今後も、他施設受入困難な重症度の高い通所利用者の増加が見込まれます。

現在以上に通所利用者の医学的管理と外来診療の両立が困難になることが見込まれます。

当園の数少ない医療資源と地域での使命を考慮したとき、当園は重症心身障害児（者）の通所事業をメインとした福祉施設であることから、外来診療についても重症心身障害児（者）の健康管理と外来リハビリテーションを中心とした診療体制とすることが果たすべき使命と考えられます。

今後は重症心身障害児（者）の健康管理とリハビリテーションをメインとした診療体制とします。注意欠如多動症や自閉スペクトラム症などの神経発達症関連で通院中の患者様には、ご迷惑をおかけいたしますが、紹介状交付など順次対応いたしますので、ご理解およびご協力の程、よろしく申し上げます。